

農村の生き物たち

平地から高地まで、どこにでも普通にいるカエルで、水田や池、水たまりなどで繁殖します。住宅地などでも見かけたり、鳴き声が聞こえたりします。指には吸盤があり、木や葉の上で見かけることも多いです。

早い年には、本州でも2月に初見や初鳴が観測されています。もうすぐ啓蟄（けいちつ）、生き物たちが動き出す時期です。暖かい日に、越冬を終えたカエルを探してみてもいいでしょうか。

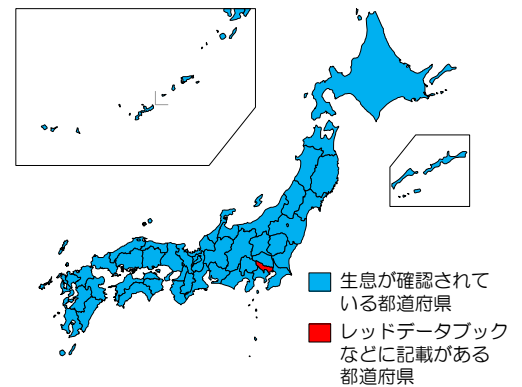
両生綱 無尾目 アマガエル科 アマガエル属

ニホンアマガエル *Dryophytes japonicus*

日本雨蛙



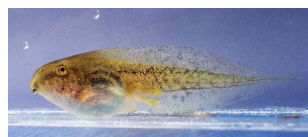
生息分布



環境省レッドリストの記載：なし

特徴

- 体長は2～5cm¹⁾。
- 鼻から鼓膜にかけて黒い筋があります。体色は黄緑色から灰色まで著しく変化します¹⁾。
- 指に吸盤があり、木や葉の上にもいます。
- 平地から高地まで、どこにでも普通にいます¹⁾。
- 水田や池、水たまりなどの浅い止水で、4～7月ごろに産卵します¹⁾。
- 幼生は比較的大きく、全長5cmくらいになります¹⁾。6～10月ごろに変態します¹⁾。



生態系における位置付け

- 幼生も変態以降も、カエル類は大型の捕食者の重要な餌です。

人との関わり

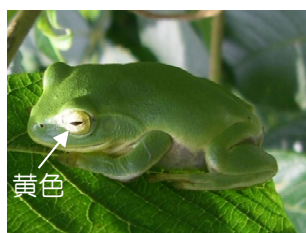
- 観察会や遊びの場で触れる機会も多いです。皮膚の粘膜は有毒なため、触った手で傷口や目は触らず、手をよく洗いましょう。
- 気象庁による生物季節観測では、ニホンアマガエルの初見や初鳴が観測されていました。早い年には、本州でも2月に初見（1955年2月26日、岡山）、初鳴（1979年2月11日、館山）が観測されています²⁾。

似ている種

- モリアオガエルは、体色の個体差が大きいです。目の光彩が赤褐色です。
- シュレーゲルアオガエルは、目の虹彩が黄色です。



モリアオガエル

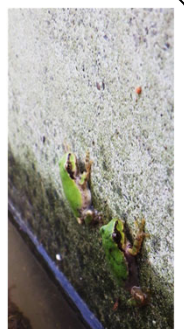


シュレーゲルアオガエル

保全に向けて

- 吸盤を持つ本種も、コンクリート水路に落ちたあと脱出できずに死んでいることがあります。対策として、カエルが落ちないように水路に蓋をかけるなどの取組が行なわれています。

コンクリートの壁を登る → ニホンアマガエル



参考 1) 松井正文・前田憲男(2018):日本産カエル大鑑, 文一総合出版, 50-51. 2) 気象庁HP <https://www.data.jma.go.jp/sakura/data/>

(施設工学研究領域 施設保全グループ 渡部 恵司)

「農村工学研究部門メールマガジン」第153号(2023年2月号)